

個人5

受 令和 4 年 2 月 22 日
付 (午前)・午後 9 時 06 分

一般質問 (代表・個人) 通告書

令和 4 年 2 月 22 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 安 田 吉 宏

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 2	無電柱化の推進について
要 旨	<p>令和2年7月、本市において大規模自然災害が起きても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける強靱な地域を作り上げるため、本市の強靱化に関する指針として「尾張旭市国土強靱化地域計画」が策定されました。</p> <p>また、国においては、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、電柱倒壊リスクがある市街地等の緊急輸送道路の無電柱化を進めているところです。</p> <p>無電柱化の進捗状況を表す指標として「無電柱化率」が用いられますが、国外では、ロンドンやパリ、香港では100%、台北やシンガポールでは90%以上の高い水準を誇るなど、アジアの主要都市においても、無電柱化が積極的に進められています。</p> <p>一方で、国内では、東京都の無電柱化率は10%以下、国内で最も高い無電柱化を誇る兵庫県芦屋市でも約15%であり、国内の無電柱化の整備は遅れています。</p> <p>そこで、大規模自然災害が頻発化し、防災・減災、国土強靱化の対応が求められている中、安全安心なまちづくりの一環としての本市における無電柱化について考えを伺います。</p> <p>(1) これまでの無電柱化の取組について (2) 本市における無電柱化の必要性について (3) 無電柱化事業の実施可能性について</p>

申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>3</u>	北京オリンピック出場の吉永一貴選手について
要 旨	<p>尾張旭市出身・吉永一貴選手が冬季オリンピック2大会連続出場を果たしました。惜しくもメダルには届きませんでした。私たちに感動と勇気を与えてくれました。</p> <p>今回の吉永一貴選手のオリンピック出場に際して、本市としてどのような対応を実施したのかお伺いします。</p> <p>(1) オリンピック出場に向けた応援事業の実施について (2) 閉幕後の対応について</p>

申し合わせ事項に留意する。